

令和4年度

木屋平中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 少人数での授業方法の工夫と改善
- タブレットの活用, 交流学习の推進

学力向上検討委員会構成

校長

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等, 様々な機会を捉え, 取組状況の把握を行う。

◎次の(1)~(3)をバランスよく取り組み, 学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能がおおむね身に付いていて, 与えられた課題にもまじめに取り組むことができる。 ●漢字や英単語の書き取りに課題がある。 ●長い文章を正確に読み取ったり, 身に付けた知識等を関連付けたりすることに課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能を十分に身に付け, 自主的・自律的に学習に取り組むことができる。 ・学習の過程を通して習得した知識・技能が, 既習の知識・技能と関連付けられ, 他の学習や生活の場面で活用することができる。	・内容の重点箇所を捉えさせるため, 文章にアンダーラインを入れさせる。 ・毎日漢字練習をさせ, 週1回漢字テストや英単語テストを実施する。 ・学習支援アプリケーションを利用し, 基礎的・基本的知識の定着を図る。 ・発問を工夫し, 生徒の生活に関連付けるようにする。 ・漢字検定, 数学検定, 英語検定に挑戦させる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の調べたことをもとに整理して発表したり, 自分の意見を相手の立場に立って伝えたりすることができる。 ●課題に応じて, 必要な情報等を取り入れ自分の考えを深め, 新しい考えを創造することに課題がある。	・課題に対して, さまざまな情報や他者の意見を取り入れ, 自分の考えを深めたり相手に伝えたりすることができる。 ・自分の考えを述べる際には, 判断の根拠や理由を示しながら伝えることができる。	・根拠となる考えを文章にしたり, 発表したりする機会を増やす。 ・県学力活用問題等を利用し, 思考力を深める学習を月に1回以上取り組む。 ・リモート学習等で他校との連携を図り, 多様な意見を取り入れ, 考えを深めさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○どの教科の授業にも落ち着いて取り組み, 自主的に疑問点を解決しようとする姿勢がある。 ○家庭学習の習慣が身についている。 ●不得意な学習内容に対して, 自分で計画を立てて克服することに課題がある。	・各教科の学習で, 進んで疑問点を解決することができる。 ・120分を目標に家庭学習に取り組むことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り, 自ら課題を見つけ, 解決するために計画を立てて実践することができる。 ・読書の習慣を身に付けることができる。	・疑問点に対して, ヒントを与えじっくり考えさせることで, わかる喜びを実感させる。 ・家庭でのタブレット活用を定着させ, 弱点強化を図るようにする。 ・自ら立てた計画表を振り返らせ, 計画を見直し改善できるようにする。 ・読書カードを記録させたり, おすすめ読書を紹介させたりする。			

令和4年度 学力向上ロードマップ



